



## ビジネスマールと経済の変化

Office  
of  
黒田国際ナショナル コンサルティング  
黒田 毅  
Kuroda

技術革命は、新しい現実をビジネスマールとして与えたのである。これら飛躍的進歩と変化は、その社会革命を与え、経済における新しい現実の創造を行ったのである。

これらは経済の創造する新しい現実が、その意味と価値を増大し、大きなプレゼンスを現実に対して有することなのである。

これらは国家における経済施策が経済の安全保障と共に要求されることであり、自由経済システムと自由貿易システムへの新たな理解を要求されるものである。

これらは、経済第一主義という現実とともに、富という価値が、世界を支配する新たな現実を有するのである。これは資本主義が所有を許容することにおける競争という世界の現実がそれを賞賛することを現実にする球である。

これらは新しい技術文明の創造を経済が有する真実が存在し、自由経済システムという現実が、その自由な環境を提供し、そのエキサイトメントを現実が有するのである。

これらへの考察は、自由主義がその進歩性において哲学的判断において高度な進歩を有することに対して、現実の進歩性がそれへの到達を得ないという真実を有すると考える。

これは進歩性というトレンドが、西洋文明の占有において存在することが存在するのである。これらは西洋のルーツが、学術考察の進歩性と共に自己文化を有することにおいて理解されるものである。

これらは知的進歩性という基盤が、現実の所有を有するという真実を提案したいと考える。これらは全ての知的考察という西洋の基盤がその新しい未来を模索しているという真実なのである。

必ず現実には知性という基盤を求めるものであり、未来という創造はその経済とシステムにおいて、知性における進歩性が新しい未来を可能とすると考える。